

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和58年7月19日 第15報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	460	◎	
(珪) <i>Melosira italica</i>	380		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	320		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	120		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluviatile</i>	400	○	
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	300		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	40		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	60		○
(藍) 藍藻綱	20	0.8	0.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	840	32.3	8.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	6.2	2.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1580	60.8	88.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2600	総体積	1.22E+07
種類数	12	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	460

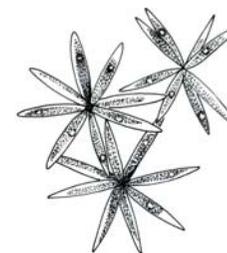
第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluviatile</i>	400

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱
細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



***Actinastrum hantzschii*
var. *fluviatile***
(アクチナスツルム)
緑藻綱
細胞は細長い紡錘形で4~16個の細胞が一端で連結し、放射状となる。南湖で春から夏に多く見られる。また、昭和55年8月に長浜港沖に多かった。